



教育目標 清流清く 秀峰強く 豊穰豊けく 飛翔高く

学校経営スローガン

『「関川プライド」を胸に、「温もり」「挑戦」「感動」によって

関わる人々が幸せ (well-being) になる学校』

目指す生徒の姿

・自ら課題を設定し、解決に向けて  
粘り強く取り組む生徒(知)

・自他を尊重し、お互いに認め合い  
高め合う生徒(徳)

・規則正しい生活を送り心身とも  
健やかな生徒(体)

【成果目標】

- ①授業がわかる・できる  
(アンケートで80%以上)
- ②学び合いの学習活動を通して、学習内容を理解したり考えを深めたり新しい考えを得たりすることができている(アンケートで80%以上)
- ③進んで毎日宿題・自学に取り組む  
(アンケートで80%以上)

【取組】

- ①ICT機器の効果的な活用によるUDLの視点を取り入れた授業づくりと環境づくり
- ②学び合いのある授業づくり
- ③自主学習ノート提出率の可視化による家庭学習習慣の定着

【成果目標】

- ①誰とも分け隔てなく接し協力して活動している  
(アンケートで90%以上)
- ②自分にはよいところがある  
(アンケートで60%以上)
- ③家や地域で自分からあいさつしている  
(アンケートで90%以上)

【取組】

- ①人権教育、同和教育、道徳教育の充実
- ②問題行動の未然防止と早期チーム指導体制の構築
- ③生徒会を中核とした自治的活動の充実

【成果目標】

- ①部活動や社会体育、自主トレなどで体力向上に取り組む  
(アンケートで80%以上)
- ②夜11時までに就寝している  
(アンケートで70%以上)
- ③メディアコントロールを身に付けようとしている 夜10時以降の端末使用はしない  
(アンケートで60%以上)

【取組】

- ①体育の授業改善と効果的な部活動経営の工夫と改善
- ②学級活動や生徒会活動で健康教育の取り組み
- ③家庭と連携したメディアコントロールやタイムマネジメントの工夫と改善

・郷土を愛し創造し自分の未来を描ける生徒(ふるさと学習)

- 1年生「地域を知る」、2年生「地域で学ぶ」、3年生「未来を描く」をテーマとした系統的な学習を通して、郷土を愛し、郷土に誇りをもち、郷土の将来を担う生徒の育成
- SDGsの視点を中核に据えた教育課程の編成
- 専門家による書道科指導の充実

『認め合い』、『かかわり合い』、『讃え合い』、自尊感情を高める取組を通して社会性を育む

特別支援教育の充実  
一人一人の教育的ニーズに応じた支援

人権教育、同和教育の充実  
正しい人権感覚と温かい人間関係

【 関川村 世界に誇る生活習慣の確立 】

「姿勢正して。1にあいさつ 2に返事。靴をそろえて椅子入れる。箸と鉛筆正しく使う。」

コミュニティスクール(関川村学校運営協議会・地域学校協働本部)  
関川村「保・小・中連携プログラム」